

中小企業 あきた

TOPICS ① 1

31蔵元が統一ラベルの
「秋田旬吟醸2021」を販売
～秋田県酒造協同組合～

TOPICS ② 2

中小企業団体全国大会に向けた
本県の要望事項

- 景況レポート7月分 4
- 中小企業組合等支援施策情報 6
- 話題の広場
 - 中央会事業より 8
 - 支援団体活動レポート 8
 - 新理事長紹介 9
 - インフォメーション 9

AKITAVISION
秋田県

2021 vol.736 **9**月号

トピックス1

31蔵元が統一ラベルの「秋田旬吟醸2021」を販売

～秋田県酒造協同組合～



県庁での「秋田旬吟醸2021」のPRの様子

特別限定酒 秋田旬吟醸 2021



秋田県酒造組合HPにある特設サイト

秋田県酒造協同組合（齊藤雅人理事長）では、組合員である県内の31蔵元から各1銘柄を出品してもらい、統一ラベルで販売する「秋田旬吟醸2021」の予約販売を行いました。

これは、新型コロナウイルスの感染拡大で日本酒の消費が落ち込む中、需要回復につなげようと昨年からはじめた企画であり、今年が2回目となります。

昨年はわずか半日で予約が上限に達する好調ぶりだったことから、本数を約1.6倍に増やし、約25,000本を限定販売することとし、各蔵元から県産米を使用した純米吟醸や純米大吟醸を出品いただきました。

今回は新たに、7月3日から同11日まで県内53の酒販店で先行予約を受け付けました。

その後、飲食店向けの予約受付期間を経て、8月1日から同17日まで、秋田県酒類卸の特設サイトで一般予約を受け付けたところ、予定数量を上回る申込があったため、締め切り後に抽選を行い、当選者に通知しました。

当選者への発送は9月中旬を予定しており、購入者には特典としてお酒の紹介などが掲載された公式ブックレットが贈られます。

同組合の需要開発委員会の伊藤洋平委員長は、「完売することができ、組合として大変嬉しい。日本酒を美味しく飲んでいただき、コロナが終息したら、飲食店等で県産酒を楽しんでいただきたい。」と述べています。

組合では、今後も県産酒のPRを図っていくこととしています。